

2010年8月31日基準

らくちんファンド運用状況のご報告

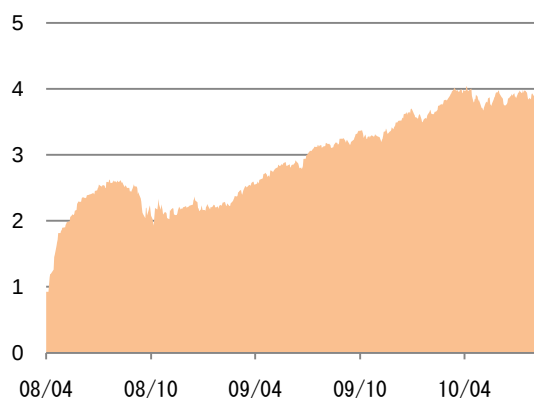
基準価額の推移（円）



期間別騰落率

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-3.0	-2.4	-3.3	-3.7	-	-20.6

純資産総額の推移（億円）



らくちんファンド概要

基準価額	7,941 円
純資産総額	390,215,528 円
設定日	2008年4月24日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月25日

【らくちんファンド：運用コメント】

株式市場の取引量が減少しています。NY市場では、今年8月の取引量が2000年以降、初めて月間ベースで10億株を下回る事態となる等、世界的に株式離れが深刻なようです。取引量が少なくなること、株価の動きは上下振れやすくなっています。急落したかと思えば、翌日には急騰するなど、この動きはしばらく続きそうです。

一方、為替市場は活況を呈しています。世界で取引される1日の外国為替の量は、4兆ドル（約337兆円）に達したそうです。04年に1兆9,000億ドル（約160兆円）、07年の3兆3,000億ドル（約278兆円）と飛躍的に伸びています。海外ではヘッジファンドからの投資が著しいようですが、日本では個人投資家の取引が拡大しているとのこと。取引量が増加したことで、株式市場とは逆に、値動きが小さくなっています。円高が進行していると言っても、急速な感じがしないのは、この膨大な取引において、売りと買いが拮抗しているからなのでしょう。

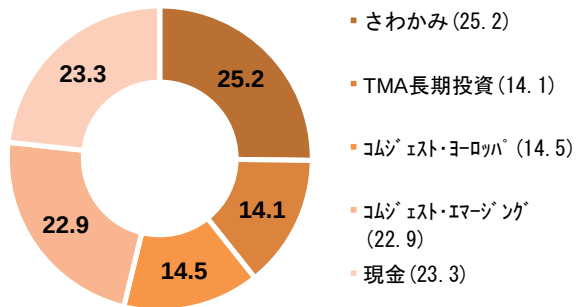
為替市場と同様に、債券市場が活況を呈しています。世界的なデフレ懸念や金融緩和の期待から、債券投資が拡大し、歴史的な金利の低下を招いています。今の債券投資の動きは、将来への不安、当面行き場のないお金の投資先、とりあえずリスクを回避しておこうという、お金の動きが多数を占めていると思われます。そうしたお金は、現状の低金利にいたたまれず、少しでも高い金利を求め、徐々にリスクを取りながら資金をシフトし出すのが恒例です。先進国の国債から新興国の国債へ、国債から社債、社債の中でもハイ・イールド債へと、債券の中でリスクを取り始め、その後は、株式や商品へと移動すると予想しています。

また、世界的にデフレ懸念が叫ばれていますが、どうも金融市場が煽り過ぎているような気がします。実態経済を見ると、新興国経済は順調な成長を遂げ、先進国の企業業績も大きく回復しています。このギャップこそ、将来のチャンスが隠されていると考えています。

<らくちんファンド>は、これらチャンスを捉えるよう、しっかりとタイミングを伺っています。 にしお

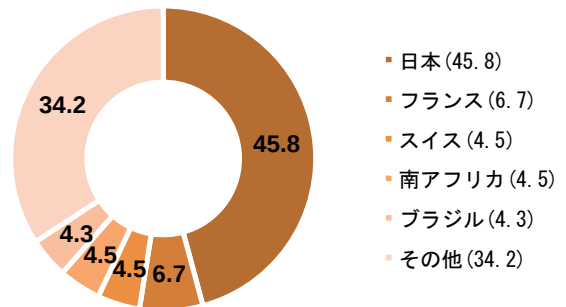
組入れ状況

組入れ比率 (%)



※時計回り

国別比率 (cashを除き、組入れ比率に基づく) (%)



※時計回り

TMA長期投資

基準価額：7,440円 純資産：1,206百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率 %
1	キーエンス	日本	産業用エレクトロニクス	3.6
2	エア・ウォーター	日本	基礎素材	3.1
3	信越化学工業	日本	基礎素材	2.9
4	日揮	日本	機械	2.9
5	テルモ	日本	医薬品・ヘルスケア	2.8
6	ヒロセ電機	日本	電子部品	2.7
7	セブン銀行	日本	銀行	2.6
8	花王	日本	家庭用品	2.6
9	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.5
10	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL A	アメリカ	保険	2.5

さわかみ

基準価額：11,211円 純資産：207,745百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率 %
1	商船三井	日本	海運業	3.89
2	トヨタ自動車	日本	輸送用機器	3.69
3	リコー	日本	電気機器	3.14
4	パナソニック	日本	電気機器	3.08
5	ブリヂストン	日本	ゴム製品	2.89
6	三菱重工業	日本	機械	2.69
7	花王	日本	化学	2.38
8	SUMCO	日本	金属製品	2.00
9	セブン&アイ・ホールディングス	日本	小売業	1.94
10	国際石油開発帝石	日本	鉱業	1.85

コムシエ・ヨーロッパ

基準価額：6,775円 純資産：1,225百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率 %
1	DANONE	フランス	生活必需品	6.6
2	CAPITA GROUP PLC	イギリス	資本財・サービス	6.4
3	SYNTHES INC	スイス	ヘルスケア	5.9
4	ESSILOR INTL	フランス	ヘルスケア	5.7
5	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	5.5
6	SAP AG	ドイツ	情報技術	4.5
7	HENNES & MAURITZ AB	スウェーデン	一般消費財・サービス	4.4
8	ROCHE HOLDING AG	スイス	ヘルスケア	4.4
9	INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	4.3
10	RECKITT BENCKISER	イギリス	生活必需品	3.7

コムシエ・エマージング

基準価額：8,765円 純資産：1,448百万円

順位	銘柄	国名	業種	比率 %
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	台湾	情報技術	4.9
2	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	4.9
3	GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	素材	4.1
4	JBS SA	ブラジル	生活必需品	3.7
5	ANGLOGOLD ASHANTI LTD	南アフリカ	素材	3.6
6	HTC CORP	台湾	情報技術	3.5
7	BUNGE LTD	アメリカ	生活必需品	3.1
8	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	3.1
9	AVON PRODUCTS INC	アメリカ	生活必需品	2.6
10	NATURA COSMETICOS SA	ブラジル	生活必需品	2.4

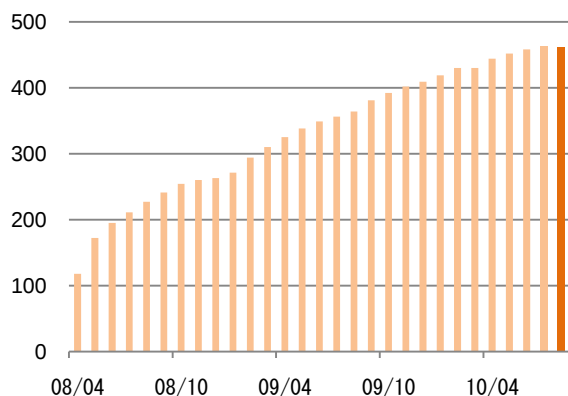
※業種分類は各運用会社によって異なります。

当レポートは、らくちんファンドの運用状況等の情報提供を目的として、クローバー・アセットマネジメント株式会社が作成したものです。当レポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・安全性を保証するものではありません。らくちんファンドの受益権の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容を確認の上、ご自身の判断でお申込みください。記載された内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

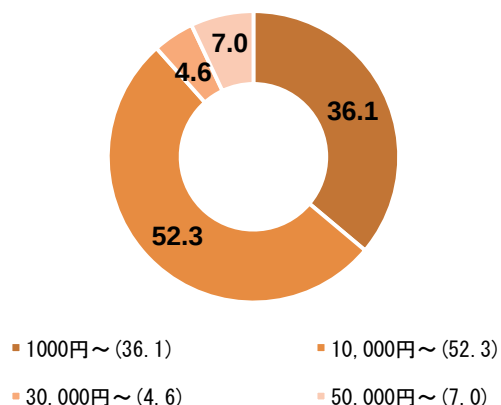
皆さまの『らくちんファンド』

2010年8月31日基準

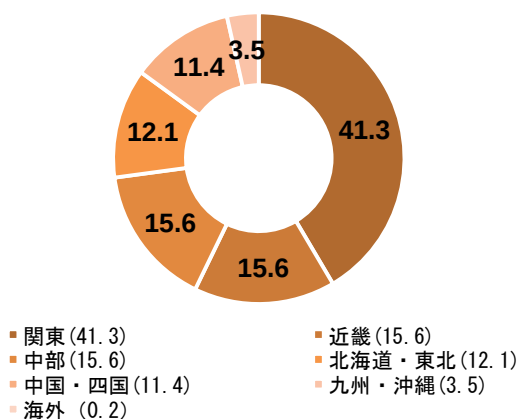
『らくちんファンド』購入者推移（件）



『らくちんファンド』毎月つみたて状況（％）



『らくちんファンド』地域別購入者（％）



業務管理部からのお知らせ

東京オフィス移転のお知らせ

東京オフィスは、来る平成22年9月27日（月）より、新オフィスにて営業をさせていただきますことになりました。

新オフィスには、セミナールームも併設し、随時セミナーも開催してまいります。

お客さまに気軽にお越しいただけるオフィスとなっておりますので、お近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

新東京オフィスの住所は、下記の通りとなります。

〒102-0075

東京都千代田区三番町5-37 三番町葵ビル

最寄駅：東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」

5番出口 徒歩約5分

TEL (03-3222-1220) / FAX (03-3222-1225)

※電話・FAXは、今まで通りで変更ございません。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

*この件に関しまして、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

東京：03-3222-1220 / 大阪：06-4790-6200

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

（受付：平日9時～17時）

今後のセミナー情報

当ファンドウェブサイトではセミナー情報を随時更新しています！

日時・会場	テーマ・講師	お申込み先
9月17日（金） 19:00～21:00 池袋・勤労福祉会館 500円	『長期投資を考える』勉強会 星野泰平氏（つみたて投資 発起人） 西生智久（当社運用部長 らくちんファンド担当）	小室 秀雄 様 hkomuro@tbm.t-com.ne.jp TEL:049-224-5183 （午後7時から午後10時迄）
9月19日（日） 13:30～16:30 高知・佐川町 佐川町立・桜座 無料	『長期投資道』 斉藤 真（さわかみ投信 運用調査部アナリスト） 西生智久（当社運用部長 らくちんファンド担当）	当社 gyoumu@clover-am.co.jp TEL:03-3222-1220
9月20日（月・祝） 13:30～16:30 高知市 ぢばさんセンター 500円	『貯金ゼロからの貯蓄道と 長期投資道』 田口 智隆氏（ファイナンシャル・インディペンデンス代表） 西生智久（当社運用部長 らくちんファンド担当）	近藤 広典 様 ko-ten31@shirt.ocn.ne.jp または、当社 TEL:03-3222-1220
9月23日（木・祝） 13:30～16:30 横浜 ナビュレ横浜	『横浜悠々人生作ろう会』 西生智久（当社運用部長 らくちんファンド担当）	お問い合わせ先：当社 gyoumu@clover-am.co.jp TEL:03-3222-1220
10月1日（金） 19:00～21:00 東陽町 江東区文化センター 500円	長気投志を考える会 黒島光昭氏（さわかみ投信 運用調査部） 園部鷹博氏（さわかみ投信 戦略企画部） 西生智久（当社運用部長 らくちんファンド担当）	田部井 哲広 様 ntabei2007@ybb.ne.jp TEL:047-473-1198 （午後7時から午後10時迄）
10月23日（土） 18:30～20:00 帯広市 とかちプラザ 無料	自立して堂々と生きていこう勉強会 仲木威雄氏（さわかみ投信 戦略企画部） 西生智久（当社運用部長 らくちんファンド担当）	さわかみ投信株式会社 様 TEL:03-5226-7980 （ご縁の窓口）
10月24日（日） 14:00～16:00 帯広市 とかちプラザ 無料	自立して堂々と生きていこう勉強会 澤上篤人氏（さわかみ投信 代表取締役） 仲木威雄氏（さわかみ投信 戦略企画部） 西生智久（当社運用部長 らくちんファンド担当）	さわかみ投信株式会社 様 TEL:03-5226-7980 （ご縁の窓口）

当社では、セミナー・勉強会の主催者を募集しております。ご要望に応じ、当社から講師が伺います。ご希望の方はお気軽にお問合せください。（TEL 03-3222-1220）

らくちんライブラリー

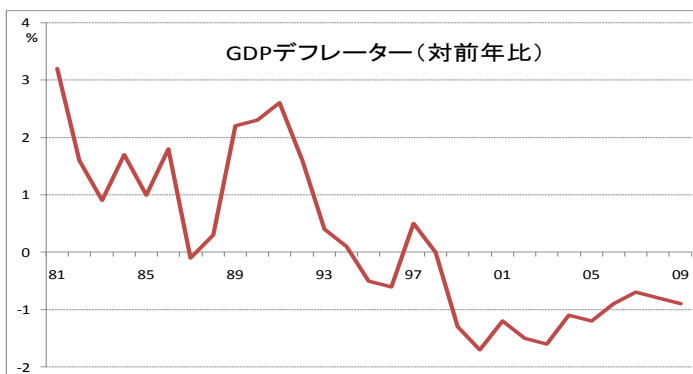
第六回目は『デフレ（デフレーションの略）』です。

日本では2001年に政府からデフレ宣言が出され、稀に見る長期的なデフレ基調が続いています。日本に限らず、米国や欧州でもデフレ状態に陥るのではと懸念され始めています。物の値段が下がって、嬉しいはずですが、懸念されるほどのデフレとは一体何なのでしょう？

デフレとは、「**経済全体に、物やサービスの値段が継続的に下落している現象**」と定義されています。物価が下がることで、一時的な購買力の増加に繋がりますが、中長期的に見ると、企業収益の悪化、所得の減少、消費の低迷、資産価値の下落などを招き、景気がさらに悪化する、そのことが最も懸念されています。

ところで、デフレであるかの判断には、どのような指標が使われているのでしょうか。物価動向ですから、店頭価格を見る消費者物価指数（CPI）を見るのが一般的です。ただし、概念からすると、消費だけでなく、設備投資や公共投資など経済全体の物価動向を示す「GDPデフレーター」が使われるケースが多いようです。消費者物価に比べ、速報性には欠けますが、正確に物価動向を把握できるという特徴があります。

GDPデフレーターは名目GDPを（物価変動調整した）実質GDPで割った値です。それを対前年や対四半期の増減率で見えています（下グラフ参照）。これが長期的にマイナスが続けば、デフレと判断されています。日本では99年から前年比マイナスとなり、その後デフレ状態にあると宣言されました。



デフレとは言い換えれば、需要と供給のバランスが崩れている状態です。物の供給が過剰であり、極端に需要が少ないということです。供給を絞り込み、需要を創出することが基本的な対応策です。また、物価が下がるので、お金の価値が上がります。そうすると、企業も家計も金利が低くても、お金を貯めようという行動に出ます。

預貯金が優先されれば、世の中にお金が回りにくくなり、経済活動はより縮小し、企業業績の悪化、個人所得の減少へと悪循環を余儀なくされます。企業は安易に供給を絞れず、需要創造も起こりにくくなります。そうすると、経済は悪化し、さらに疲弊してしまう懸念があります。経済だけでなく、社会をも混乱させてしまう恐れがあります。

ここはひとつ、企業は計画している投資を進め、余剰資金はなるべく所得に回し、個々人が少しでも消費を増やすことを考えた方が良さそうです。・・・ 未来を元気にするために！ ・・・

活 動 報 告

夏の北海道！ でも今年はいへん暑かったです。

8月29日（日）に北海道・伊達と室蘭の2か所でセミナーを行いました。その様子を今回のアレンジャーであります伊達の宗像さんと室蘭の吉田さんからセミナー報告を以下の通り、いただきました。それにしても、東京の猛暑とは一転、秋のような涼しさを期待していたのですが、北海道も暑かったです。

「お金と社会の勉強会」を 北海道・伊達で開催しました。

西生さんの投資信託は大航海時代から始まっているという話に始まり「匿名組合」「共同義会」という話。儲けたお金で、どんどん社会的なインフラを作っていく会社の話がありました。

澤上さんからさわかみの3段階。「財産作りの段階」「お金が増えたら、余ってきたお金をかっこよくお金を使う大人が出てくる段階」「そこに住む子どもたちそれをみて子どもたちがあこがれてまねをする段階」そうならば、世の中が変わるでもこれには100年かかる。われわれ今から100年後のためにやらないといけない。それができるのが長期投資という話に始まり、参加者からの質問であつという間の2時間でした。



「お金と社会の勉強会」を 北海道・室蘭で開催しました。

ほとんど、はじめての参加者ばかりです。「最近、ファンドを購入した人」、「自分で株購入をはじめた人」、「まったく投信を知らない人」、「ウーレンパフェット好きで、ファンド会社をはじめたいと憧れてる人」など。話の内容は、おもに「長期投資の運用の仕方」と「どのような企業を応援するのか」という話でした。



【参加者の感想】

- みなさんのエネルギー、元気を感じました！広い世界をのぞかせてもらえました。もっと学んでみたいです。（30代女性）
- わたし自身まだ理解できていない部分があります。機会があれば又参加させて頂いて勉強させてください！喜んでもらえるビジネスは、私も同感です。（40代女性）
- こうした機会は貴重なものですので、また企画して頂きたい。（50代男性）
- ちょうど自分が最も興味を持っていることがテーマでした。良い会社に投資しようという、澤上さんの方針に感銘を受けました。（50代女性）

『らくちんファンド』に係る手数料について

【申込手数料】	ありません。
【換金（解約）手数料】	
①換金（解約）手数料	ありません。
②信託財産留保額	0.1%
【信託報酬等】	年率0.945%（税込）
※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	
※信託財産留保額は長期で保有していただいている受益者との公平性を守るためのものであり、ファンドに留保されます。	
※信託報酬は販売会社、委託会社、受託会社の報酬として、毎日、信託財産より支払われます。『らくちんファンド』では、信託財産の増加に応じて信託報酬を引き下げる予定です。	

『らくちんファンド』に係るリスクについて

『らくちんファンド』は投資信託証券への投資を通じて、株式や公社債を実質的な主要投資対象としています。『らくちんファンド』の基準価額は、それら投資信託証券の価格変動の影響を受け、下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。